

「ふるさと教育」取組紹介

大田小学校

6学年 総合

学習タイトル 「世界に輝く！石見銀山

～その輝きを未来につなげよう～



三瓶自然館サヒメルの講師から話を聞き、資料やインターネットを使って情報収集し、課題を焦点化していきました。大森町での現地学習では、本物に触れたり、「石見銀山ガイドの会」の方から説明を聞いたりして課題を追求しました。また、未来も安心して暮らせる社会をつくるための視点からも調べ、地域の問題や自分にできることを考え、学習発表会で発表しました。

さらに、実際の町並みを再現した仮想空間の中を歩きながら見つけたものを共有したり学習を振り返ったりして、石見銀山についての学びを広げることができました。

「ふるさと教育」取組紹介

長久小学校	5学年　社会科・総合
学習タイトル 「長久・大田市の良さを発見しよう」	
	
<p>長久小学校の図書館にある「岩谷直治」の写真を紹介することから、「岩谷直治」についての興味関心を高め、その後の見学調査活動につなげていきました。</p> <p>地域講師をお招きし、「岩谷直治と水素エネルギー」についてのお話を聞いたり、「水素の持つ力」に関する科学実験授業をしてもらいました。また、イワタニ島根株式会社にあるメモリアルルームを見学することで、理解をいっそう深めることができました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

五十猛小学校	1学年 生活科
学習タイトル 「笑顔いっぱいコスモス畑」	
	

地域の方々と一緒に、コスモスの種をまき、10月には花摘みを体験しました。

摘んだものを地域の方が押し花にしてくださったので、「ランチョンマット」と
「しおり」を作ることができました。子どもたちは、それぞれ気に入った花を選
び、素敵な作品を作りました。

「ふるさと教育」取組紹介

静間小学校	3学年 社会科・総合
学習タイトル 「すてきな静間の宝物」	
	

毎年全校で、地域の「名所・旧跡を守る会」の方々と一緒に、近藤ヶ浜の「ハマナス園」を清掃しています。この活動をきっかけに、「ハマナス」についての学習を始めました。県の天然記念物であるハマナスの特性を学び、ハマナスは自分達が守っていかないといけないという意識が芽生えた子ども達から、「ハマナスは静間の宝物」という言葉が出てきました。ふるさとカルタ作りなどの活動を通して、ハマナス以外の地域の宝にも目を向け、ふるさとを誇りに思う心を育み、愛着を深めていきました。

「ふるさと教育」取組紹介

鳥井小学校

3・4学年 総合

学習タイトル 「おいしい鳥井のぶどうができるまで」



4月にぶどうの観察をしながら、育て方と肥料のやり方について学習し、種をなくすためのジベレリン処理をしたり「大きくなあれ」と話しかけながら、毎日水やりをしました。6月にはJAグリーンでぶどうの販売体験をし、たくさんのお客様と触れ合うことができました。また、実際に鳥井町内のぶどう園に行き、収穫をしました。実が傷つかないように大切に収穫しました。

生産者さんのたくさんの工夫と苦労を感じました。

「ふるさと教育」取組紹介原稿

久手小学校	5学年 総合
学習タイトル	
「見つけよう 大田市の宝物～大田の大あなご～」	
	
<p>大田市の地域素材を生かし、ブランド化を実現している「大田の大あなご」について調べ学習をしました。地域講師をお招きし、調理実習を交えて、大田の大あなごの魅力について教えていただきました。あなごを素材にした商品開発やブランド化への工夫についてお話を聞いた後、あなご丼の調理をし、実食してそのおいしさを体験することができました。あなご水揚げ量トップクラスの大田市に誇りをもてた学習でした。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

朝波小学校	5学年 総合
-------	--------

学習タイトル 「米作り－波根湖の干拓と稲作－」



5年生は、米づくりをテーマとして探究的な学習に取り組んでいます。その中で、久手町から波根町にかけての広大な田園地帯に関心を向けました。戦後間もないころまで波根湖が広がっていた地域が、いかにして田園地帯となつたのか、その謎について地域講師からお話を聞きました。そこで、戦後の米不足や労働の場の確保のために波根湖を干拓したことや、当時の人々が米づくりを大切にしていたことを学び、それらを学習発表会の場で保護者や地域の方々に伝えました。

「ふるさと教育」取組紹介

北三瓶小学校	全学年 クラブ活動
学習タイトル「神楽発表」	
	
<p>北三瓶小学校では、今年度の文化祭に、地域、保護者の方々をお招きし、神楽の発表を行いました。クラブ活動の中で地域講師をお招きし、演目「恵比寿」を教えていただきました。中学年、高学年は舞を、低学年は合拍子を練習し、当日はがんばって発表することができました。</p> <p>北三瓶地域には、市の無形民族文化財、日本遺産の構成文化財でもある「多根神楽」があります。少しでも地元に伝わる神楽に触れることで郷土愛を育んでいきたいと思っています。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

志学小学校	3学年　社会科
学習タイトル 「わたしたちの暮らしと働く人」	
	

志学地域で収穫されたネギが給食で使われていることを知った3年生は、社会科の学習でネギを栽培されている農家へ出かけ、学習を行いました。1日に収穫する量やどこに販売するのかなど、たくさんの質問に丁寧に答えていただき、また実際にネギを収穫する体験もさせていただきました。地元の生産者の方々の努力や工夫が自分たちの食生活を支えていることに気づき、新たな学びにつながりました。

「ふるさと教育」取組紹介

川合小学校	3・4学年（複式学級） 総合
学習タイトル 「通いの場へいこう」	
	

3・4年生『通いの場へいこう』の活動では、年間を通して、川合まちづくりセンターで行われる通いの場に参加し、高齢者の方々と交流しました。交流を重ねるうちに、次第に仲良くなり、相手が喜んでくれるにはどうしたらよいかを考えて交流できるようになりました。また地域の高齢者と顔なじみとなり、積極的に話しかけたり、高齢者をいたわったりする姿が見られるようになりました。

「ふるさと教育」取組紹介

久屋小学校	5・6学年 総合
学習タイトル 「田植え！稻刈り！食べ比べ！ ～久屋の米づくりを全身で体験しよう～」	
 	
<p>地域の方々と一緒に田植えや稻刈りをし、自分たちで育てたお米と、市内で作られたその他の品種(コシヒカリ・きぬむすめ・つや姫)のお米を炊いて食べ比べをしました。</p> <p>三瓶自然館サヒメルでは学芸員から三瓶山を中心とした大田市の米づくりについて学びました。</p> <p>育て・考え・食べる活動を通して、久屋の米づくりを全身で体験しました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

大森小学校	5・6学年 総合
学習タイトル 「大森の魅力をもっと広めよう」	
	
<p>昨年度は、地域の方々が今後も大切にしていきたい大森町の価値や魅力を「<u>せけんいさん</u>世間遺産」として地域の方々に向けて発表するとともに審査・認定していただきました。今年度は、さらに観光客の方々にも町の魅力を発信しようと考えました。タブレットなどの電子機器を使って学習したり、地域の方々にアドバイスをいたしたりしながら、どのような方法で発信すれば、たくさんの方々に知ってもらうことができるのか探求していました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

高山小学校	5・6学年 総合
学習タイトル 「米作りを体験しよう」	
	
<p>地域のボランティアの方に協力していただき、「田植え」「いいじ作り」「稻刈り」体験をしました。活動の前後には、農家の方の米づくりやふるさとに対する思いや願いを聞く貴重な経験もできました。農家の方の工夫や作業の大変さを体験した分、収穫の喜びはとても大きかったです。</p> <p>収穫したお米は、3・4年生が作った小豆といっしょに「小豆ご飯」にして、お世話になった方と味わいました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

温泉津小学校

2学年 生活科

学習タイトル 「町たんけんへ行こう」



温泉津町の4つの地域それぞれに出かけ、地域のお話を聞き、様々な体験をしました。井田地域では和牛子牛共進会への参加や、まき作り体験をしました。湯里地域では、特産の「西田葛」について葛の掘り出しから葛粉になるまでの話を聞き、葛料理を試食しました。温泉津地域では登り窯の見学や温泉街を散策しました。福波地域では、まちづくりセンターや郵便局などの施設を見学しました。体験や見学をして学んだことを新聞にまとめ、学習発表会でも紹介しました。

「ふるさと教育」取組紹介

仁摩小学校

6学年 理科 「大地のつくり」

学習タイトル「仁万の硅化木を調べよう」



三瓶自然館サヒメルの講師を招き、仁摩小学校近くの海岸にある県の天然記念物「仁万の硅化木」や地層について学習をしました。

日本遺産の構成文化財のひとつでもある、火山の噴火によってできた硅化木に実際に触れたり、間近で観察したりすることにより、教科書では学ぶことができない実感を伴った発見や感動を得ることができました。また、火山の噴火による大地のつくりについての理解を深めることができました。

「ふるさと教育」取組紹介

第一中学校	1学年 総合
学習タイトル 「わたしの地域を自慢しよう」	
	
<p>住んでいる地域のよさを再確認し、そのよさを伝えるという目的で「わたしの地域自慢」を行いました。グループごとに、これまでの体験や生活の中からみつけた自慢や調べ学習をもとに、各小学校区の「ひと・もの・こと」についての自慢をまとめ、プレゼンテーションの形で発表しました。生徒は他の小学校区のよさを発見し、大田市をあらためて知る機会となりました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

第二中学校	1学年 総合
学習タイトル 「石見銀山学習」	
	

1学期に石見銀山の歴史や価値、大森地区にある産業や旧跡などの調べ学習をしました。2学期のフィールドワークでは、自分たちの計画に沿って現地を見て回り、そこに関わる人たちとの出会いを通して、自分たちのふるさとへの理解をより深めていきました。さらに、さまざまな人たちの協力を得ることで地域が活性化することにも気づくことができ、充実した学習をすることができました。

「ふるさと教育」取組紹介

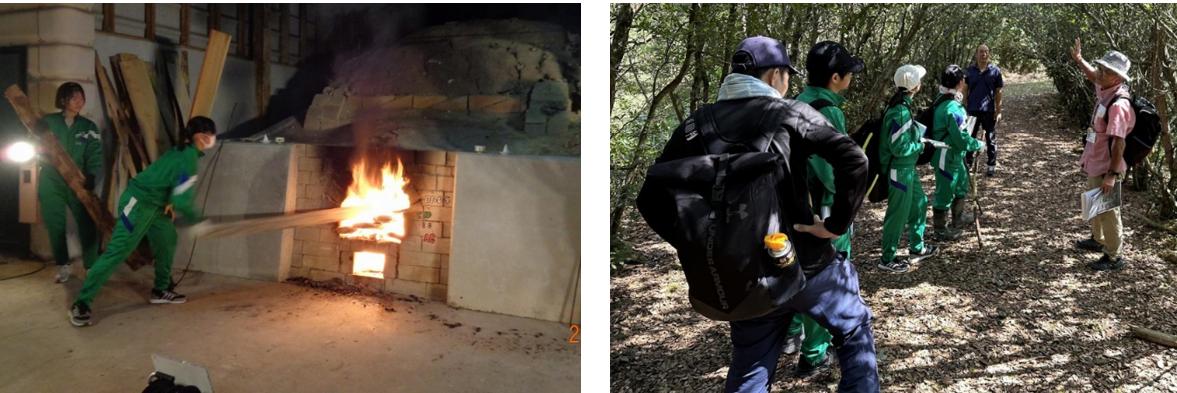
北三瓶中学校	全学年 総合
学習タイトル 「お米づくり学習」	
	
<p>北三瓶小学校とともに長年にわたり、種糲まき、田植え、稻刈り、脱穀とお米づくりの主な段階について体験学習を行っています。各場面において、地域の方から指導・支援をいただきながら、手で植える、手で刈るといった手作業の体験を通して、お米づくりの大変さを学んでいます。収穫したもち米は、お世話になった地域の方々と感謝祭（収穫祭）でもちつきをして、おいしく味わうことができました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

志学中学校	全学年 総合
学習タイトル 「三瓶フィールドワーク」	
	

志学中学校から三瓶自然館サヒメルまで、ボランティア活動として「ゴミ拾い」、自然観察として「草木の観察」を、創作活動として三瓶青少年交流の家で「スタンプバッグづくり」をしました。三瓶自然館サヒメルの講師から、普段の生活では気付くことができない草木の特徴や国の天然記念物「三瓶山自然林」の重要性について教えていただきました。豊かな自然に触れ、実際にボランティア活動をすることで、大切なふるさとの自然を守るためにできることを考える機会となりました。

「ふるさと教育」取組紹介

第三中学校	全学年 総合
全校生徒「窯芸活動」	1年生 石見銀山学習「やなしお道探索」
	
<p>全校生徒で成形から素焼き、本焼きまで行いました。地域講師から、水上町で窯芸が盛んになった経緯や陶器の特徴についてお話を伺いました。焼きあがった作品を手に、喜ぶ生徒が多く見られました。</p> <p>1年生は、「石見銀山ガイドの会」の方から説明を受けながら、「やなしお道(銀山街道の一部)」を歩きました。街道に残る人々の生活の様子や遺物を見て、当時の様子に思いを巡らすとともに、銀を運ぶ苦労の一端も実感しました。</p>	

「ふるさと教育」取組紹介

大田西中学校	1年生 総合
学習タイトル 「石見銀山の魅力を伝えよう」	
	

2027年に世界遺産登録20周年を迎えるにあたり、講演や現地学習を通して、世界遺産としての価値や課題を自分たちで調べ新聞にまとめました。大森町での活動では、グループごとに課題を設定し、午前中に「石見銀山ガイドの会」の方に質問したり、午後の自分たちの活動で確かめたりすることができました。また、現地で実際に見聞きすることによって、資料やインターネット等ではわからない新たな魅力を見つけることができました。